

## しゃっちょうは行く!

1

### Broaden your horizons ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは! メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。今回から、このコラムを担当させていただきます。皆様と紙面上だけでもつながれることを嬉しく思います。

さて、私は薬剤師ですが、母であり、妻であり、医療薬学講師であり、心理カウンセラーであり、社長です。「わらじ何足履いてんね〜ん!」と自分で突っ込みを入れています。

「ダイヤモンドはダイヤモンドでしか磨けないように、人も人でしか磨けない」と思い、私は起業しました。メディセレは、薬剤師教育支援学校です。そして今後、薬剤師には心理カウンセラーの役割も担ってほしいと、薬剤師の心理カウンセラー養成も行っています。薬学部が4年制から6年制に移行し、18歳人口が低下しているのに、薬学部は私立29校から57校に増えました(国公立含めて74校)。薬学部全体の偏差値低下が起り、定員割れを起こす大学が全体の3割(23校)という事態になっています。

そして、春から皆さんのところに6年制1期生の学生が実習にやってきました。6年制の子達は、「何を勉強しているのだろうか?」「大丈夫かしら?」と不安に思っている先生も多いと思います。確かに、14年前から「治療」という科目が薬学部で教えられるようになりました。これは今後のチーム医療を踏まえてのことです。薬学教育は現場との連携を強化し、臨床を重視したカリキュラムに変わりました。今こそ現場の先生方のお力が必要です。机上と現場は違います。生きた臨床を教えられるのは先生方です。薬学教育に携わる者の一人として、先生方にぜひ、薬学生達が憧れる先輩、そのモデルになってやって欲しいと思います。

アメリカでは、成績5段階で、医学部に入るには4.5以上必要ですが、薬学部は4.7以上必要なのです。日本も負けてはいられません。社会に薬剤師は必要である、医療に薬剤師は必要であると思ってもらうために、今、薬剤師は頑張らないといけません。薬剤師の未来を輝かしいものにするため、しゃっちょうは今日も行きます! 共に頑張りましょう!

Medisere (メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子